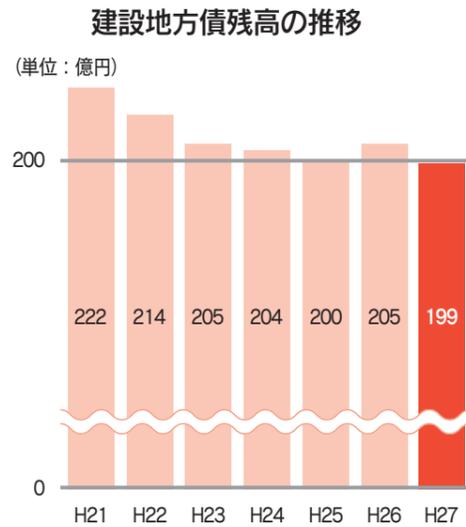


舞鶴市の財政状況

ここからは、舞鶴市の平成27年度の決算や財政状況を分かりやすく、家計に例えながら説明します。



「まいづる家」のローン～建設地方債の状況～



「建設地方債」とは、家計に例えると家の増改築や車の購入時などのために、銀行などからお金を借りるローンのことです。

ローンを利用し、数年間に分けてお金を返済すれば、その年の費用負担を少なくすることができるだけでなく、長い間使う公共施設などは、将来、施設を利用する次の世代にも公平に費用を負担してもらうことができます。

また、「建設地方債」のほか「まいづる家」の給料など、収入の不足を補うためのローン（臨時財政対策債）も利用しています。臨時財政対策債の平成27年度残高は153億円となっていますが、返済のための資金を国が全額手当てしてくれるので、実質的な市の負担はありません。

左のグラフは、「建設地方債」の借入残高の推移です。計画的にローンを活用しているため、残高は少しずつ減少しています。「借入残高200億円以下」を維持することを目標としています。



「まいづる家」の家計簿～平成27年度決算の状況～

平成27年度一般会計の歳入決算額約353億円と歳出決算額約349億円を、収入35万3千円と支出34万9千円の家計簿に例えて紹介します。

(1億円を「1千円」に、昨年度の決算額との比較は「先月との比較」に例えています)



収入 (市の財政にあてはめると)	金額	(先月との比較)
父母の給料 (市税、地方交付税など)	226,000円	(5,000円↑)
祖父母の年金収入 (国・府支出金)	85,000円	(5,000円↑)
家賃収入 (分担金、財産収入、使用料など)	10,000円	(±0円)
臨時収入 (寄付金、諸収入)	12,000円	(1,000円↓)
前月からの繰り越し (繰越金)	3,000円	(3,000円↓)
貯金の取り崩し (繰入金)	2,000円	(20,000円↓)
ローンによる借り入れ (臨時財政対策債除く建設地方債)	15,000円	(13,000円↓)
計 (一般会計歳入合計)	353,000円	(27,000円↓)

支出 (市の財政にあてはめると)	金額	(先月との比較)
食費 (人件費)	67,000円	(2,000円↑)
医療費 (扶助費)	80,000円	(2,000円↓)
光熱水費や日用品の購入 (物件費)	44,000円	(3,000円↓)
子どもの教育費や仕送りなど (貸付金、繰出金、補助費等)	76,000円	(2,000円↓)
家の増改築や修繕費 (建設事業費、維持補修費)	47,000円	(20,000円↓)
貯金 (積立金)	1,000円	(1,000円↓)
ローンの返済 (公債費)	34,000円	(2,000円↓)
計 (一般会計歳出合計)	349,000円	(28,000円↓)

「まいづる家」では、先月に、家族みんなが快適な生活を送れるよう、家の増改築や修繕に積極的に取り組んだことから、今月は、支出が減少しています。

収入では、貯金の取り崩しやローンによるお金の借り入れを大幅に減らす一方で、給料などは少し増加しました。また、支出では、家の増改築や修繕・医療費が減ったほか、光熱水費などの必要経費についても節約に努めました。

※「まいづる家」のエンゲル係数「経常収支比率」⇒93.5%（前年度との比較：2.6%減）
給料などの必ず得られる収入のうち、食費や医療費、光熱水費など、生活に必要な費用にどの程度使われているかを表した指数です。

これからも、経費の節約やお金の使い方を工夫するのはもちろん、まちを元気にする取り組みを進めて、「まいづる家」の給料が増えるようにがんばります。



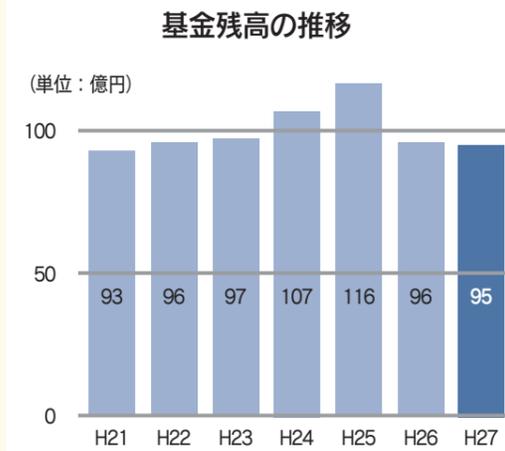
「まいづる家」の貯金～基金の活用～

「基金」とは、家庭に例えると突然の出費や家の建替えなどに備えて蓄える貯金のことです。

ローンとのバランスを取りながら、豊かで暮らしやすいまちづくりのために貯金を活用しています。



平成26年度と平成27年度は、舞鶴市が飛躍するための基盤づくりとして、子育て交流施設や公立保育所の統合整備のほか、福祉専門学校の誘致関連工事、赤れんがパークのブランド価値向上の取組み、引揚記念館の整備などに貯金の一部を活用しました。



特別会計・企業会計の決算状況

【特別会計】

会計名	収入	支出	基金残高	市債残高
国民健康保険	105億3,684万円	104億8,739万円	4億4,273万円	-
介護保険	78億8,103万円	77億6,954万円	6億6,329万円	-
後期高齢者医療	11億1,032万円	11億394万円	-	-
土地建物造成	3,790万円	284万円	-	-
貯木	20万円	20万円	8,857万円	-
駐車場	8,737万円	2,874万円	-	-
簡易水道	7億3,513万円	7億1,924万円	9,224万円	20億1,672万円
下水道	48億8,814万円	48億8,259万円	1億726万円	289億7,247万円

※簡易水道と下水道会計の市債については、事業収入に加え、一部は一般会計からの繰入金によって返済

【企業会計】 収益的収支 (税抜き)

会計名	収益	費用	当年度純利益
水道事業	17億1,625万円	16億7,419万円	4,206万円
病院事業	9億6,108万円	9億6,108万円	0万円

「まいづる家」の家計～財政の健全性を示す2つの指標～

財政の健全性を示す指標には、「実質公債費比率」と「将来負担比率」があります。家計に例えると、「実質公債費比率」は、年収に占めるその年のローン返済の割合を表したものです。「将来負担比率」は、将来返済や支払いが必要なお金が年収に対してどの程度あるかを表したものです。

どちらの数値も危険水準（早期健全化基準）を大きく下回っており、「まいづる家」の家計は健全な状態にあるといえます。

